



平成26年度

姉妹都市パロアルト市における  
「第2回 日本/土浦まつり」派遣・交流  
に関する報告書

土浦市 土浦市議会  
土浦市国際交流協会



## はじめに

土 浦 市 長                      中 川   清  
土浦市国際交流協会会長      瀬古澤   拡

土浦市とアメリカ合衆国カリフォルニア州パロアルト市の交流については、平成5年、新治村内に竣工した企業を通じて本社のあるパロアルト市内の社員宅に新治中学校の生徒がホームステイを行ったことで、これが「縁」となり、人と人をつなぐ「和」を結ぶものとなりました。

本市では、国際感覚の涵養と次代を担う優れた人材育成を目的として、平成7年度から、旧新治村とパロアルト市中学生の交換交流事業を開始し、平成26年3月の訪問まで、計20回にわたり、248名もの中学生がパロアルト市を訪問しています。パロアルト市からも208名の中学生が本市を訪れ、お互いの家庭に相互にホームステイをするとともに、学校訪問や異文化体験など様々な交流を図ってきました。

この中学生交換交流事業の継続がきっかけとなり、平成21年4月、本市とパロアルト市の姉妹都市が締結され、土浦市にとって、初めての姉妹都市が誕生したのです。

姉妹都市締結後、その年の秋には、パロアルト市長からの招待を受け、土浦市長として初めてパロアルト市を訪問し、姉妹都市としての交流の第一歩を踏み出しました。

翌年の平成22年10月には、ネイバーズアブロード主催の初めての「日本/土浦まつり」が開催され、本市においても、市制70周年記念事業の一環として、市内の伝統芸能団体等を派遣するなど、市民間の交流を推進することができました。

一方、平成4年に設立された土浦市国際交流協会では、平成24年の3月に、設立20周年の記念事業を実施いたしました。記念事業の実施にあたり、パロアルト市から市長と交換交流の担当である中島先生をお迎えし、盛大に協会の設立20周年をお祝いするとともに、姉妹都市関係の更なる結びつきを目指した今後の交流に向けて、国際交流協会の役割を示すことができました。

そして、今回、姉妹都市締結5周年を記念して、2回目となる「日本/土浦まつり」がパロアルト市で開催され、日本文化の披露や土浦市のPRにより市民間交流をさらに深めることができました。市民の方々とともに、市の代表や議会代表者も同行し、パロアルト市長、市議会議員をはじめ、教育委員やネイバーズアブロードの皆さんとも懇談し、また、姉妹都市交流の側面から協力・支援をいただくためサンフランシスコ総領事館へも表敬訪問を行ってまいりました。

この度の派遣・交流により、今後の確固たる姉妹都市交流への道筋を作ることができ、大変意義ある訪問ができましたことは、誠に喜ばしいことと思います。

以下、今回の訪問内容に関する報告をいたします。

## 副市長あいさつ

土浦市副市長 五頭英明

この度、アメリカ合衆国カリフォルニア州パロアルト市で2回目の「日本/土浦まつり」が開催されることを機会にパロアルト市を訪問いたしました。

2009年の4月、土浦市がパロアルト市と姉妹都市関係を結んで、早いもので5年が経過し、この間、2011年3月、東日本の各地は、これまで経験したことのない大地震に見舞われ、本市におきましても復旧復興に追われておりました。その最中、パロアルトの皆さんから温かい励みやご支援を頂いたことは、我々土浦市民にとって、復興に向けた大きな勇気となり、感謝の気持ちでいっぱいになるとともに、人と人とを結ぶ姉妹都市の深い絆を実感するものでありました。

そこで、今回の訪問に当たっては、「市民間交流の推進」を第一の目的に定め、土浦市国際交流協会が主体となって、日本文化や伝統芸能の披露、土浦市のPR等を行ってきました。

4年前に開催された初めての「日本/土浦まつり」では、市民訪問団の皆さんによる様々な日本文化の披露により、日本及び土浦市をご理解いただくきっかけとなったものと思います。今回は、市民間交流をさらに深め、互いの文化の違いを肌で感じることで、相互の理解も一層深まったことと確信しているところです。

「日本/土浦まつり」は、ネイバーズアブロードを中心とした多くのボランティアによって運営され、老若男女を問わず、多くの市民が、様々なブースで楽しい時間を思い思い過ごしておられました。これは、日本とアメリカの文化や習慣の違いがあるとは言え、まさに市民による手作りイベントであり、「市民との協働のまちづくり」を進めている土浦市にとって、大変参考になるものでありました。

パロアルト市は、全米で最も住みよいまちのひとつと言われ、高い生活レベルや教育水準、治安の良さなど、本当に素晴らしい先進都市であります。この異国のパートナーと異文化交流できることは、本市にとってたいへん有益なことで、あらためて強く感じました。

姉妹都市関係が締結され、5周年を迎えた今、当時蒔いた種が、芽を出し、花が咲き、今後この花をさらに大きく育てられるよう心に銘じて、帰国の途に就いたのであります。

今後とも、多方面において様々な交流が進められ、パロアルト市との姉妹都市としての関係が、一層深まっていくことを目指して、努力してまいりたいと思います。



# 議長あいさつ

土浦市議会議長 内田 卓男

今般、パロアルト市と姉妹都市を締結し5周年となることから、これを記念し「日本／土浦まつり」を開催することとなり、伝統芸能・茶道・坐禅関係の市民の皆様と五頭副市長とともに、平成26年9月26日から10月1日の6日間にわたり、パロアルト市を訪問いたしました。

「日本／土浦まつり」は、天候にも恵まれ、大勢のパロアルト市民の方にもご来場いただき、日本の伝統文化と土浦市を広く紹介し大盛況の中で終えることができましたことは、まつりを支えていただいた関係者の皆様のご協力の賜と深く感謝を申し上げます。

市議会からは、私を含め環境経済委員会から中川敬一議員、文教厚生委員会から篠塚昌毅議員の3名の議員が参加いたしました。私は、前回平成22年10月に開催された「日本／土浦まつり」にも参加させていただき、二度目の訪問となりました。

まつり会場となった「ルーシースターン・コミュニティセンター」では、土浦から伝統芸能（日本舞踊）、茶道、坐禅等の日本文化の紹介を行い、今回も、茶道・坐禅の指導には、向上庵「三ツ井美智住職」にあたっいただき、お手伝いをさせていただきました。

茶の湯では、抹茶への関心が高いこともあり、多くの方にお茶を楽しんでいただき、会場内では通訳の女性の方も和服姿で、裏方には地域の皆さんとともに、篠塚議員にも浴衣姿で務めていただきました。

今回の「日本／土浦まつり」は、「ネイバーズアブロード」が中心となって、多くの関係団体や地域の皆さんにボランティアとしてご協力をいただき運営されております。

本市との中学生交換交流生として、3年前に私の孫の所にホームステイした「アンディー・コティック」君もお母さんとともにボランティア参加しており、お母さんとは初めてお会いすることができ、アンディー君のお父さんへお土産（花火のネクタイ）をプレゼントすることができました。

このように、ボランティア活動が社会にしっかりと根付く中で、今までの交換交流生とその家族の方も参加しており、日本文化（柔道、剣道、合気道、弓道、生け花、けん玉、餅つき等）を紹介するため関係団体や愛好者の皆さん、在米日本人の方なども加わり、多方面からの参加・協力をいただいて盛大に開催できたものです。

今回、姉妹都市締結5周年記念として、2回目の「日本／土浦まつり」が開催できましたが、継続した交流を行っていくためには、「人づくり・人と人のつながり」が最も大切であり、中学生の交換交流事業を保護者の方を含めて、末永く続けていくとともに、市議会としても一層の交流拡大への支援をしまいたいと考えております。



# 訪問の概要

# 1 事業概要について

## ◎趣 旨

パロアルト市において、土浦市との姉妹都市締結5周年を記念して、第2回目の「日本／土浦まつり」が開催されることから、伝統芸能団体等を派遣し、日本文化と土浦市を紹介するとともに、市民間の交流を深めるものです。

◎訪問先 アメリカ合衆国 カリフォルニア州 パロアルト市

## ◎訪問者名簿

### ◇伝統芸能、茶道・坐禅関係

中山 登美子	土浦市文化協会 邦楽連盟 久美浦会代表
小原 宏子	土浦市文化協会 邦楽連盟 久美浦会
江原 きよ子	土浦市文化協会 邦楽連盟 久美浦会
和佐原 悦子	土浦市文化協会 邦楽連盟 久美浦会
宮本 富枝	土浦市文化協会 邦楽連盟 久美浦会
三ツ井 美智	向上庵住職

### ◇土浦市国際交流協会

藤田 佑子	土浦市国際交流協会 副会長
清藤 雅宏	同協会 会員
西本 均	同協会 会員
菊池 節子	同協会 会員

### ◇土浦市・土浦市議会関係

内田 卓男	土浦市議会 議長
中川 敬一	土浦市議会 環境経済委員会委員長
篠塚 昌毅	土浦市議会 文教厚生委員会委員
久保田 寿	議会事務局長（議長随行）
五頭 英明	土浦市副市長
望月 亮一	土浦市市民生活部 市民活動課長（副市長随行）

## 2 訪問日程について

日程	月日	時間等	行 程	宿 泊	
1	9/26 (金)	12 : 00	◎土浦市役所出発 専用車	機中泊	
		14 : 30	◎結団式（成田空港第1ターミナル 南ウイング待合室S-2）		
		17 : 55	◎成田空港発		
		<b>— 日付変更線通過 —</b>			
		10 : 30	◎サンフランシスコ空港着 専用車		
		12 : 00	◎パロアルト市へ到着		
		12 : 00~13 : 00	◎昼食会（ルーシースターン・コミュニティ センターにて） 専用車		パロアルト泊
		13 : 15~13 : 45	◎中学生交換交流事業参加校訪問 （ジョーダン中）		
		14 : 00~14 : 30	◎中学生交換交流事業参加校訪問 （JLS中）		
		15 : 00~15 : 45	◎パロアルト市内行政視察 （広域水質管理施設等）		
16 : 00~16 : 20	◎パロアルト市庁舎見学				
2	9/27 (土)	9 : 00	◎ホテル出発 専用車	パロアルト泊 またはホーム ステイ	
		9 : 00~10 : 30	◎パロアルト市内及び近郊視察 （スタンフォード大学）		
		11 : 00~12 : 00	◎コンピューター・ヒストリー・ ミュージアム見学		
		14 : 00~16 : 00	◎「日本／土浦まつり」に関する ミーティング及び準備 専用車		
		16 : 30~17 : 30	◎新コミュニティセンター（ミッチェル パーク内）内覧会		
		18 : 00~20 : 00	◎ネイバーズアブロード会員宅にて 歓迎会		

日程	月日	時間等	行 程	宿 泊
3	9/28 (日)	8 : 30  9 : 00~10 : 00 10 : 00~16 : 00  11 : 30~13 : 00  10 : 00~16 : 00   16 : 00~17 : 00  17 : 30	◎ホテル出発 専用車 ◎日本／土浦まつり会場準備 ◎日本／土浦まつりに参加  <b>副市長、議会代表</b> ・パロアルト市長、市議会議員等との懇談 ・オープニングセレモニー出席 <b>芸能団体等・国際交流協会会員</b> ・日本舞踊、茶道及び坐禅の披露と交流 ・土浦市及び国際交流協会のPR  ◎日本／土浦まつり会場片付け 専用車 ◎ホテルへ移動	パロアルト泊 またはホーム ステイ
4	9/29 (月)	9 : 00  10 : 00~16 : 00  15 : 00~16 : 00	◎ホテル出発 専用車 ◎サンフランシスコ近郊視察  ◎在サンフランシスコ日本国総領事館訪問	サンフランシ スコ泊
5	9/30 (火)	10 : 00  13 : 35	◎ホテル出発 専用車 ◎サンフランシスコ空港発  <b>— 日付変更線通過 —</b>	機中泊
6	10/1 (水)	16 : 25  17 : 30  19 : 30	◎成田空港着  ◎成田空港発 専用車 ◎土浦市役所到着	

### 3 日本／土浦まつりについて

- ◎主催 パロアルト市 ネイバーズアブロード（民間国際交流団体）  
土浦市 土浦市国際交流協会
- ◎日時 平成26年9月28日（日） 午前10時～午後4時
- ◎場所 パロアルト市 ルーシースターンコミュニティセンター



「日本／土浦まつり」の案内看板(手づくりのもの)

#### ◎内容

##### (1) 土浦市から派遣した伝統芸能の披露

- ① 日本舞踊の披露 (2回)
- ② 茶道・坐禅の披露 (2回)



##### (2) 土浦市代表者・議会代表者と、 パロアルト市長・議員との懇談会

##### (3) 折り紙や日本のアニメ等の紹介

##### (4) 日本文化のパフォーマンス (武道、習字等)の披露

##### (5) 土浦市のPR、土浦市国際交流協会の 紹介



**Glossary**

Origami	Origami, from <i>ori</i> meaning "folding", and <i>kami</i> meaning "paper" is the traditional Japanese art of paper folding, which started in the 17 <sup>th</sup> century. The goal of this art is to transform a flat sheet of paper into a finished sculpture.
Ikebana	Ikebana, "living flowers", is the Japanese art of flower arrangement, also known as Kado, "the way of flowers". Ikebana is a disciplined art form in which nature and humanity are brought together.
Kendama	Kendama is a traditional Japanese toy which consists of a ken "sword" and tama "ball" connected by a string. Basic kendama tricks consist of catching the ball in the cups and on the spike.
Sumie	<i>Sumi</i> means ink and <i>e</i> means painting. The 2000 year-old art form of Japanese brush painting is spiritually rooted in Zen Buddhism.
Bonsai	Bonsai is a Japanese art form using miniature trees grown in containers. Japanese tradition dates back over a thousand years, and has its own aesthetics and terminology.
Koto	The koto is a traditional Japanese 13 stringed musical instrument. Koto is about 180 centimeters (71 in) width, and made from kiri wood (Paulownia tomentosa).
Mochitsuki	Traditionally, mochi was made from sweet rice, in a labor-intensive process. <i>Tsuki</i> means "pounding." The traditional mochi-pounding ceremony in Japan happens before New Year's Day.
Kagamibiraki	Kagamibiraki is a Japanese traditional ceremony which literally translates to "Opening the Mirror" or also "Breaking of the Mochi." It refers to the opening of a cask of Sake at a party or ceremony.
Shakuhachi	Shakuhachi is a Japanese end-blown flute. It is traditionally made of bamboo.
Koinobori	Koinobori, meaning "carp streamer" in Japanese, are carp-shaped wind socks traditionally flown in Japan to celebrate Children's Day which takes place on May 5 <sup>th</sup> .

**Thank you to all our community sponsors:**

Sushi House

Miyo at Cambridge Salon of Beauty

Kimura Gallery

Color with Whitney and hair cut with Jordan at di Pietro Todd Hair Salon

Starbucks

Takara Sake U.S.A

Lee Optometrics

Nippon Travel Agency

Shoko of Los Altos

Host/Trip 2013 Families

Host/Trip 2014 Families

Adrienne Lee at Lee Optometrics

The Fresh Market

La Jolie Nail Spa

Muay Thai (Kick boxing)

Village stationers

Il Forno

**And more**



*Tsuchiura Festival Committee*

*All the performers who contributed their time and talent to make this event so special!*

*All the volunteers who dedicated many hours for preparation and discussion.*

*"ARIGATO GOZAIMASU"*

# Japan Tsuchiura Festival

Palo Alto and Tsuchiura Sister-City Celebration

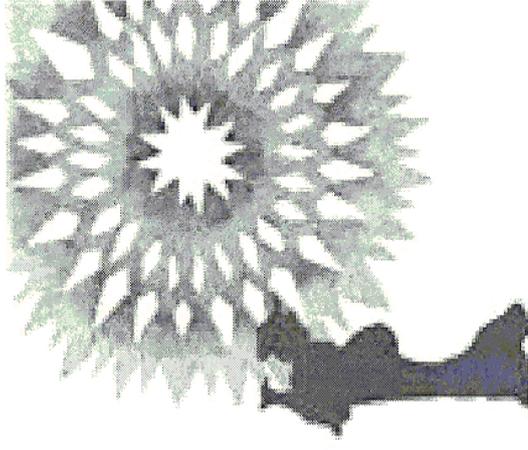


**Sunday, 9/28/14**

at 10:00 am - 4:00 pm

Lucie Stern Community Center  
1305 Middlefield Road, Palo Alto

Contact info: 650-561-9771



Sponsored by City of Palo Alto and Neighbors Abroad, City of Tsuchiura and Tsuchiura International Assoc.

Supported by Consulate General of Japan in San Francisco

### Map 1. Community Room

- Sushi House Food Sale (helpers)
- Silent Auction (Need helper)
- White Elephant Sale
- Anime Drawing Contest (Hallway)
- Tsuchiura City Poster
- Tsuchiura Information Desk
- Hina Doll Display???

### Map 2. Vendors at Lawn area

- Harvest Land (T-shirt)
- Suzuki Yoshiko (Jewelry, remake kimono)
- Arakawa Pottery
- Stacy Yem, Ceramics/Pottery
- Food Truck 1
- Food Truck 2

### Map 3. Tables at Courtyard

1. Face Painting - Isabella, Mimi
2. Neighbors Abroad - members
3. Palo Alto Desk - Thomas F.
4. Origami - Kaoru Yamaguchi
5. Calligraphy - Keiko Kokawa
6. Fukushima Support - MiekoMazza
7. Chopstick game - Saki Matayoshi
8. Zero Waste - Wendy Hediger
9. Kendama - Matt Hall
10. Koinobori making - Mabel, Miki
11. Sumie - Patty Iseki
12. Anime - Vivian
13. Bonsai sale - Patti Avery
14. Ikebana - Yoko Tahara
15. Sudoku

**Bake sale - Joni, Andy**  
**Drink sale - The Trans**  
**Lunch tables (6)**

**Games: Yoyo and Kingyo picks at the yard**

### Map 4. Program at Courtyard Stage

- 10:30-10:45 Yoyo - Thomas Chapman?  
10:45-11:00 Kendama - Matt Hall  
11:00 Announcement of Anime Winner  
11:00 - 11:30 Harmony 84 - Chorus  
11:30-12:00 Ikebana Demo - Yoko Tahara  
12:00-12:30 Ceremony (Yuki Matsuura, MC)  
1. Barbara and Joe Evans - Opening speech  
2. Mayor Nancy Shepherd - Welcome speech  
3. Tsuchiura Vice Mayor Goto Hideaki  
4. Chairman of the Tsuchiura City Council  
Takuo Uchida  
5. Honorable Consul General Watanabe  
6. Mayor Nancy Schepherd - Presentation of  
Plaque, Exchange of City flags  
7. Kagami Biraki presented by Takara Sake  
12:30-13:00 Kagamikai Mochitsuki  
13:00-13:30 Bonsai Demo. - Jane Iki  
14:00 Announcement of Silent Auction  
Winner  
14:30-15:30 Koto Emsemble - Mariko Kai

### Map 5: Stern Ballroom

10:00-11:00 Japanese Dance performance  
by Tsuchiura group

11:00-11:30 Kendo by Palo Alto Kendo

11:30-12:00 Silicon Valley Shotokan Karate

13:00 - 14:00 Japanese Dance performance  
by Tsuchiura group

14:00-14:30 Judo by Palo Alto Judo

14:30-15:00 Aikido by Pacific Aikido

15:00-15:45 Kyudo by JACC

### Map 6: Fireside Room

**Tea Ceremony and Zen Meditation are  
lead by Rev. Sosen Mitsui, Kojoan Temple,  
Tsuchiura City.**

Zen Translator: Lee Collins

10:00-10:45 Tea Ceremony  
Attendance limit 20

10:45 - 11:30 Zen Meditation 1  
Bring a small cushion  
Attendance limit 20

11:30-12:00 Official meeting

13:15-14:30 Tea Ceremony 2  
Attendance limit 30

15:00-16:00 Zen Meditation 2  
Bring a small cushion  
Attendance limit 30

\*Program is subject to change.

AS OF 9/10/14

# 訪問の記録

# 1日目 9月26日(金)

## [主な日程]

12:00	◎土浦市役所出発
17:55	◎成田空港発(ユナイテッドUA852便)

↓

## — 日付変更線通過 —

10:30	◎サンフランシスコ空港着
12:00	◎パロアルト市着 昼食会 (ルーシースターンコミュニティセンターにて)
13:00	◎中学生交換交流事業参加校訪問 (ジョーダン中・JLS中)
15:00	◎広域水質管理施設(廃水処理施設)視察
16:00	◎パロアルト市役所庁舎視察

出発の直前に、搭乗を予定していた航空便の欠航が知らされ、少々不安を抱えながら、市役所を定刻に出発しました。

予定の時刻に成田空港に到着、搭乗手続きの後、待合室にて訪問団の結団式を行いました。五頭副市長、内田議長より姉妹都市訪問に向けたあいさつが行われ、期待を胸に訪問団の士気が高まりました。

欠航便の振替で2時間遅れで成田を発ち、約9時間のフライトを経て、現地時間で26日(金)、無事サンフランシスコ空港に到着しました。

◆到着が遅れたため、スケジュールの変更を余儀なくされ、まずは専用バスで「日本/土浦まつり」の会場である「ルーシースターンコミュニティセンター」へ向かいました。会場に到着するやいなや、ネイバーズアブロード代表のエバンス夫妻、中島先生をはじめ、会員の皆さんの温かい歓迎を受け、心地よい風の通る中庭でランチをご馳走になり、長旅の疲れも自ずと癒されました。



ルーシースターンコミュニティセンターでの昼食会

◆昼食後、パロアルト市の最初の訪問先として、中学生交換交流事業参加校である「ジョーダン中学校」「JLS中学校」を訪れました。

どちらの学校とも、先生や生徒たちの明るい様子から、日本にはない自由な雰囲気を感じられました。校舎は低層の建物であり、大きな木々に囲まれた様子は、アメリカ的なイメージそのものであり、日本から8,259 km離れたアメリカの地にいることを実感しました。両校ともたいへん優秀な学校であり、パロアルト市がスタンフォード大学に隣接し、世界的なテクノロジーを生み出す中心、シリコンバレーに位置する地理的な状況も大きく関係しているのではないかと思います。



JLS中学校  
日本語クラス

◆中学校の訪問後、「広域水質管理施設（廃水処理施設）」を視察しました。

パロアルト市は、1年の半分近くは雨がほとんど降らないことから、サンフランシスコ湾の水質悪化対策及び水のリサイクル活用のため、この施設を所有し運営しています。この施設は、パロアルト市だけでなく近隣の地域からの委任のもと、広域で水質改善に取り組んでいるものです。対象地区22万人の住民が発生させる排水から、不必要な有機物を取り除くため、重力沈降、微生物を含む生物処理、二層媒体フィルターを使用している先進的な処理施設でした。この日は、かなりの異臭が漂う中、パロアルト市の職員から丁寧な説明を受けました。



広域水質管理施設(廃水処理施設)の視察

◆初日最後の訪問先は、「パロアルト市庁舎」です。

近代的な高層建築物の中に、パロアルト市役所とパロアルト市議会、パロアルト市警察が配置されていました。

1階の奥には、とてもオープンな形で議場があり、市や議会のシステムが異なるパロアルト市と土浦市との違いを直ぐに感じました。



パロアルト市議会議場

最上階には、市長室などがあり、そのほとんどの部屋を誰もが自由に見学できると聞きました。市民に開かれた市庁舎であることに訪問団のメンバーは驚いておりました。

時差ぼけで疲れを感じながらも、最後に市庁舎前で記念撮影し、初日の慌ただしい視察が終了しました。



パロアルト市庁舎前で記念撮影

## 2日目 9月27日(土)

### [主な日程]

9:00	◎パロアルト市内近郊視察(スタンフォード大学等)
11:00	◎コンピュータ・ヒストリー・ミュージアム見学
12:30	◎パロアルト市内で昼食
14:00	◎「日本/土浦まつり」に関するミーティング及び準備
16:30	◎新コミュニティセンター内覧会 (ミッチェルパーク・コミュニティセンター)
18:00	◎ネイバーズアブロード会員宅にて歓迎会
20:00	◎ホテル泊またはホームステイ

◆2日目の日程は、ここパロアルト市に隣接し全米屈指の私立大学「スタンフォード大学」を視察しました。先端技術の研究や多方面の学問に加えて、スポーツ活動も盛んで、世界的に有名な名門大学です。広大な校地の周辺「シリコンバレー」には、大学の出身者たちが創業した世界的なIT企業の拠点が数多く置かれています。



スタンフォード大学構内で記念撮影

◆大学を後にして、このパロアルト市が位置するIT産業のメッカ「シリコンバレー」を象徴する博物館「コンピュータ・ヒストリー・ミュージアム」を訪れ見学しました。

現在では当たり前のパソコンや計算機等の電子機器類がどのような過程を経て、世の中に出回ってきたか、各コーナーでパネル展示や映像による解説を聞くことができました。まさに、IT技術の最先端の地で、そのテクノロジーが世界をどのように変えてきたか、人類の発明・技術革新の歴史に触れることができました。

◆昼食後は、それぞれの担当ごとに分かれ、明日の「日本/土浦まつり」に向けた準備を進める時間となりました。

国際交流協会の皆さんは、中学生交換交流事業や国際交流協会の事業の様子など、持参したパネルや写真を模造紙に張るなどの作業を進めました。また、日本から送ったれんこんサブレーと土浦市の観光パンフレットをセットにして袋詰めする作業を行い、現地の方々へPRをする準備を整えました。一方、日本文化を披露する皆さん達も準備に余念がなく、衣装や道具の確認を行い、明日の「日本/土浦まつり」を待つばかりとなりました。

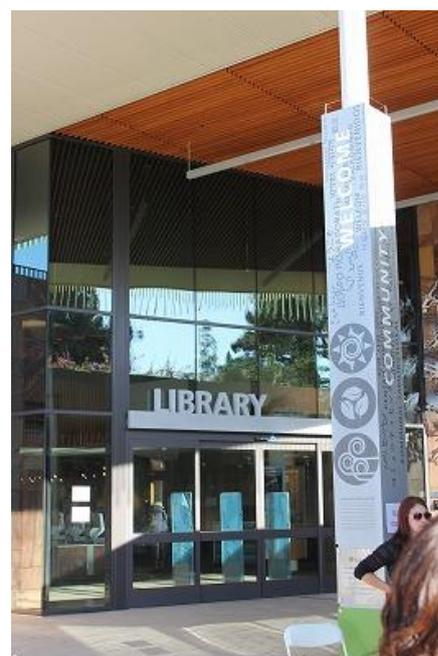


まつり来場者へ配布した土浦市の英語版観光パンフレットとれんこんサブレー

◆夕方からは、パロアルト市の新しいコミュニティセンター「ミッチェルパークコミュニティセンター」の内覧会が、地域住民を対象に開催されていたことから、私たち訪問団も施設を見学させていただきました。



図書館が併設する新しいコミュニティセンター  
(ミッチェルパークコミュニティセンター)



◆その後、「ネイバーズアブロード主催 歓迎会」が会員宅の庭で行われました。

元パロアルト市長である岸本陽里子さんの掛け声で盛大に歓迎会が始まり、私たちはあらためて温かい歓迎を受け、五頭副市長と内田議長からはお礼の言葉が述べられました。

会員の方々が持ち寄ったたくさんの料理に舌鼓を打ちながら、ネイバーズアブロードの皆さんと交流を深めるとともに、日本舞踊の皆さんの踊りで色を添え、時が過ぎるのを忘れてしまうほど和やかな雰囲気での歓迎会は終了しました。



元パロアルト市長 岸本陽里子さんの掛け声で和やかに歓迎会が始まりました



歓迎会で踊りを披露した日本舞踊団体の皆さん

歓迎会の終了後、2日間のホームステイを体験していただく市民訪問団のメンバーは、現地の方々と家路へと向かい、交流はまだまだ続けておりました。

## 3日目 9月28日(日)

### 〔主な日程〕

時間	市関係者 議会代表	日本舞踊、茶道、坐禅関係者
9:00	◎日本／土浦まつり会場準備	◎日本／土浦まつりに参加
10:00	◎日本／土浦まつり参加・交流	◎日本舞踊の披露及び交流 ◎茶道及び坐禅の披露及び交流 ◎土浦市及び国際交流協会のPR 及び交流
11:30	◎パロアルト市長・市議会議員等との 懇談	
12:00	◎オープニングセレモニー出席	
13:00	◎日本／土浦まつり参加・交流	
16:00	◎日本／土浦まつりの後片付け	◎日本／土浦まつりの後片付け

◆抜けるような青空のもと、「日本/土浦まつり」が市のコミュニティセンター（ルーシースターンコミュニティセンター）で開催されました。

運営は、すべてネイバーズアブロードの会員の方やボランティアの方により行われ、開催費用も寄付金や協賛金がほとんどという正に市民自らの手づくりによるものでした。

日本舞踊や茶道、坐禅の披露には、多くのパロアルト市の皆さんが関心を寄せ、現地の日本人の皆さんをはじめ、小さなお子さんからご高齢の方まで幅広い世代の方と交流することができました。また、土浦市国際交流協会会員の皆さんにより、土浦市及び国際交流協会の紹介や折り紙の披露など、パロアルト市民の方々や大勢の家族連れに日本の国や土浦市に興味を抱いてもらうことができました。

◆午前中、元パロアルト市長である岸本さんを中心に、パロアルト市長、市議会議員、教育委員、在サンフランシスコ日本国総領事館萩原領事にもご同席いただき、和やかな雰囲気の中、姉妹都市の関係などについて懇談しました。

◆その後、まつりの「オープニングセレモニー」に参加し、五頭副市長、内田議長からパロアルト市の皆さんへのお祝いとお礼のスピーチを行いました。今回は姉妹都市締結5周年を記念するおまつりということで、シェパード市長と五頭副市長によるお互いの市旗の交換を行い、更なる姉妹都市交流の推進を誓いました。

会場では、至るところでボランティアの方々により、様々な日本の文化を紹介したり、また体験することができるようになっていました。土浦市の紹介もコーナーを設けて、花火大会を始めとして、様々なイベントや産業などについて紹介し、パネルや写真を興味深く見入っている方々で賑わっておりました。

早朝の準備から、長い1日になるだろうと思っていましたが、会場内のイベントを楽しんだり、土浦の紹介をしたりと、気がつけば、いつの間にか終了の時間になっていました。



パロアルト市長、議員等との懇談会



パロアルト市長と五頭副市長、内田議長



オープニングセレモニー



五頭副市長スピーチ



内田議長スピーチ



市旗の交換



日本舞踊団体の皆さん



日本舞踊の披露



茶道の披露



坐禅の披露と交流



折り紙を披露した国際交流協会の清藤さん



土浦市の紹介コーナー①(国際交流協会の藤田さん、西本さん)



土浦市の紹介コーナー②



もちつきを披露する地元住民の方々



地元の方々により様々な武道の披露が行われました

# CITY OF PALO ALTO PROCLAMATION

## Welcoming Honorable Vice Mayor Goto and Company from Tsuchiura, Japan

*WHEREAS*, the intercultural exchange of ideas and values is the foundation of the Sister City Program, which cultivates international awareness; and

*WHEREAS*, the City of Tsuchiura is Palo Alto's Sister City in Japan and has honored Palo Alto by sending its Vice Mayor to visit Palo Alto; and

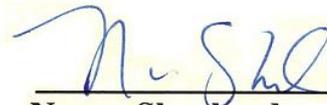
*WHEREAS*, the City of Palo Alto recognizes and welcomes the presence of the Honorable Vice Mayor Goto of Tsuchiura, Japan, Chairman of the City Council Uchida; and

*WHEREAS*, participation in this intercultural exchange embodies the mutual objectives of the two cities; namely to promote, encourage, and foster a cultural discourse between the people of Tsuchiura and the people of Palo Alto; and

*WHEREAS*, the opportunity to send Palo Alto students to Tsuchiura, Japan and to host Tsuchiura students has proven to be mutually beneficial.

*NOW, THEREFORE, I, Nancy Shepherd*, Mayor of the City of Palo Alto, on behalf of the City Council, do hereby express our warm welcome and gratitude to Vice Mayor Goto and his council for their significant contribution to the Sister City Program.

Presented: September 28, 2014



**Nancy Shepherd**  
Mayor



## パロアルト市宣言書（和訳）

〔五頭副市長および土浦市からの皆様を歓迎して〕

異なる文化間で意見や価値観を交換するということは姉妹都市プログラムの根幹をなすものであり、それは国際的な認識を育むということでもあります。

パロアルト市にとって土浦市は日本国における姉妹都市であり、このたび当市に副市長を派遣することで、当市に敬意を表されました。

パロアルト市は土浦市五頭副市長および内田市議会議長がこの場に出席されることを認め、歓迎するものであります。

この異文化間交流に関わるということは、両市が相互の目的を具体化することです。すなわち、土浦市及びパロアルト市の両市民間での文化的な対話を促進し、奨励し、育むということでもあります。

パロアルトの学生を土浦に派遣し、土浦の学生を受け入れる機会があるということは、互いに有益であるということが証明されております。

私、パロアルト市長ナンシー・シェパードは、パロアルト市を代表し、ここに心からの歓迎を表明するとともに、五頭副市長および議員の皆様の姉妹都市事業における多大なる貢献に対し、感謝を申し上げます。

2014年9月28日

パロアルト市長 ナンシー・シェパード

## 4日目 9月29日(月)

### 〔主な日程〕

時間	市関係者 議会代表	時間	日本舞踊、茶道・坐禅、国際交流協会関係者
10:00	◎サンフランシスコ市内等視察	10:00	◎サンフランシスコ市内等視察
15:00	◎在サンフランシスコ日本国総領事館訪問 ①総領事館表敬訪問 ②現地事情等についての研修		

パロアルトの皆さんとの交流は、興奮と感激でいっぱいでした。

日本/土浦まつりも大成功に終わり、早いもので4日目。今日は、サンフランシスコに移動し、それぞれの目的ごと、二手に分かれて行動をしました。

### 日本舞踊、茶道、坐禅関係者及び国際交流協会会員

昨夜までの2日間、慣れない異国でのホームステイを体験した方もおりましたが、皆さんホストファミリーの温かい心遣いとおもてなしをしていただき、打ち解けた雰囲気で見送られ、全員が集合しました。

◆午前中から、サンフランシスコ市内を視察しました。

パロアルトから高速道路で1時間弱、世界的に美しい街と称されるサンフランシスコの市内に入ると、勾配のきつい坂道があちこち目立ちはじめました。海に囲まれた美しい街で暮らす人々を想いながら、車窓に映る街並みや海など美しい景観に魅了されておりました。



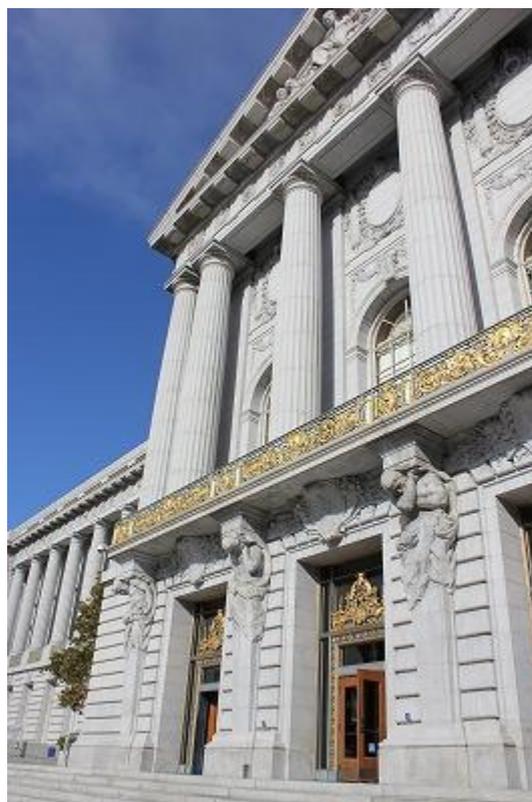
サンフランシスコ市庁舎前広場で記念撮影

## 市関係者 議会代表

◆午前中は、アメリカ西海岸を代表する世界都市、サンフランシスコの市内を巡りました。

サンフランシスコの中心地区には、カリフォルニア州政府庁舎や市庁舎、図書館、オペラハウスなど、いずれも迫力ある重厚な建築物で圧倒されました。

特にサンフランシスコ市庁舎は、一際目を惹く建物でした。



サンフランシスコ市庁舎

◆午後から、在サンフランシスコ日本国総領事館を表敬訪問しました。

昨日の「日本/土浦まつり」には、萩原領事が出席され、お祝いのスピーチをいただきました。こうした姉妹都市関係の行事には、国際交流を担う領事館の役割としても可能な限り参加されているとのこと。あらためて、我々日本人は、日本の外でも日本の国に守られているという実感が湧きました。



「日本/土浦まつり」にて萩原領事のスピーチ

渡邊総領事からは、土浦市とパロアルト市の交流について、今後も引き続き、両市の友好な姉妹都市関係に精一杯協力・支援をしていきたいとの温かい言葉をいただき、たいへん心強く感じることができました。



総領事室にて 中央が渡邊総領事

表敬訪問の後、渡邊総領事と萩原領事から、カリフォルニア州及びサンフランシスコ周辺地域の政治状況や経済状況及び姉妹都市の現状など、様々な現況について説明を受けました。

なお、カリフォルニア州と日本の間には、現在 99 の姉妹都市関係があり、全米 440 の姉妹都市の 25%に当たるとのことでした。



現地状況についての研修

## 日本とカリフォルニア州 概観

### 1. 基本情報

	日本	カリフォルニア州
人口	127,439,000	37,253,956
面積	377,944km <sup>2</sup>	423,970km <sup>2</sup>
GDP(2013)	\$4,902bn (世界第3位)	\$2,203bn (世界第8位)

### 2. 歴史

- 1860年3月17日、日本最初の遣米使節団及び咸臨丸がサンフランシスコに到達
- 1869年6月8日、北米で最初の日系農業移植地がゴールドヒルに設置(若松コロニー)
- 1870年8月25日、世界で最初の日本国在外公館がサンフランシスコに設置
- 1951年9月8日、サンフランシスコオペラハウスにてサンフランシスコ講和条約が署名
- 1951年9月8日、サンフランシスコプレシディオ・ゴールドゲートクラブにて旧日米安保条約が署名

### 3. 在留邦人、日系人

#### (1) 在留邦人

- 131,908 (2012年10月1日現在) うち、北カリフォルニア州: 38,164人、南カリフォルニア州: 93,744人

#### (2) 日系人

- 278,735人(2010年国勢調査) / 433,113人(混血を含む)  
 --LA郡102,826人、オレンジ郡31,640人、サンタクララ郡30,311人、サンディエゴ郡17,909人、アラメダ郡10,867人、SF郡10,722人、サクラメント郡9,559人
- カリフォルニア州には全米に残存する3つの日本町全てが所在(SF、LA、サンノゼ)
- 様々な日系人コミュニティが活発に活動。JACL(日系人市民連合)はサンフランシスコに本部を有し、113の全米支部のうち、90がカリフォルニア州に集中

### 4. 教育交流

#### (1) 留学生

- カリフォルニア州へ留学している日本人学生は5200人以上(2012-2013年)  
 --UCバークレー校105人、サンフランシスコ州立大学126人、スタンフォード大58人(2014年4月時点)  
 --全米全体では19,568人(前年比2.0%減、全米留学生総数の2.4%、国別で第7位)

#### (2) JET(Japan Exchange and Teaching)プログラム

- 1987年の制度発足以来、毎年200人程度がカリフォルニア州から参加
- 北カリフォルニアJET同窓会組織には2800人以上が登録、世界最大規模のJET同窓会組織

#### (3) 国費留学生制度(文部科学省)

- 1954年に発足した制度、外国人学生の留学に国費を支弁
- カリフォルニア州からは、毎年平均5~6名程度の学生が本制度で留学

#### (4) カリフォルニア州・日本高校生交流事業

- 1997年、カリフォルニア州教育法に基づき発足
- カリフォルニア州エルクグローブ学区と大阪府の間で、毎年交互に高校生を派遣・受入
- これまでにカリフォルニア州及び大阪府を合わせ、約800名の学生が参加

#### (5) 日本の大学によるカリフォルニア州内への事務所設置

- 大阪大学、九州大学、鹿児島大学、福岡工業大学、早稲田大学など、様々な日本の大学がカリフォルニア州内に事務所を設置し、精力的に活動

## 5. 経済交流

### (1)貿易

●日本は、カリフォルニア州にとって、メキシコ、カナダ、中国に次いで4番目の輸出相手国(2013年の輸出額:127億ドル)

●日本の米国全体からの輸入のうち、19.5%がカリフォルニア州からの輸入

●日本のカリフォルニア州からの主な輸入品は、コンピューター・電子機器(29.2億ドル、22.9%)などのハイテク機器、農産品及び食品加工物(21.4億ドル、16.9%)など

### (2)投資

●日本は、カリフォルニア州にとって最大の外資系投資元。2007年時点において、カリフォルニア州内の外国直接投資額(FDI)の約4分の1(263億ドル)が日本からのもの

### (3)雇用

●日系企業は、カリフォルニア州にとって最大の外資系雇用主。日系企業は、カリフォルニア州内で約11万人を雇用。外資系企業で創出される雇用の約19.4%

●カリフォルニア州では約1,500社の日系企業が事業活動を展開

### (4)農業

●日本は、カリフォルニア州にとって、カナダ、EU、中国/香港に次いで4番目の農業輸出市場(2012年輸出額:15億ドル)

●カリフォルニア州から日本への主要輸出品目は、米、アーモンド、牛肉及び加工品、飼料用干し草、オレンジ及び加工品、ワイン

●日本は、カリフォルニア州にとって、EU、カナダ、中国/香港に次いで4番目のワイン輸出市場(2012年輸出額:1億ドル)

### (5)観光

●日本は、カリフォルニア州にとって、中国(香港を除く)、イギリスに次いで3番目に多い海外からの観光客(但しメキシコとカナダを除く、2012年統計)

●2012年、55万8千人の日本人がカリフォルニア州へ来訪、アジアからの観光客全体の26%

### (6)シリコンバレー

●日本でも著名なアップル、グーグル、フェイスブック、ツイッターといった企業の本社が集中、多くの日本人もこれら企業で活躍中

### (7)高速鉄道

●加州高速鉄道計画(建設費:684億ドル、区間長:840km、全線開業予定:2029年)に、日本企業連合が車両、信号、運行及び維持管理面での参画を検討

## 6. 政府間交流

### (1)カリフォルニア州議会議員訪日プログラム

●1996年に創設されたカリフォルニア州議会上院の交流事業。これまでに15回の訪日を実施し、合計34名の議会議員が参加。ヒルダ・ソリス元連邦労働長官なども参加実績あり

### (2)姉妹州関係

●カリフォルニア州と大阪府は姉妹州関係(1994年11月15日締結、当時ウィルソン知事・中川知事)

### (3)姉妹都市関係

●カリフォルニア州と日本の間には、99の姉妹都市関係が存在(全米440姉妹都市のうち約25%)

●最古は、サンノゼと岡山市(1957年)、サンフランシスコと大阪市(1957年)

●最新は、サニーベールと飯塚市(2013年)

リンク: [http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/jp/m08\\_04.htm](http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/jp/m08_04.htm)

当館ウェブサイト: <http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/top.htm>

当館フェイスブック: <https://www.facebook.com/cgjsf1>

(2)

5日目 9月30日(火)

6日目 10月1日(水)

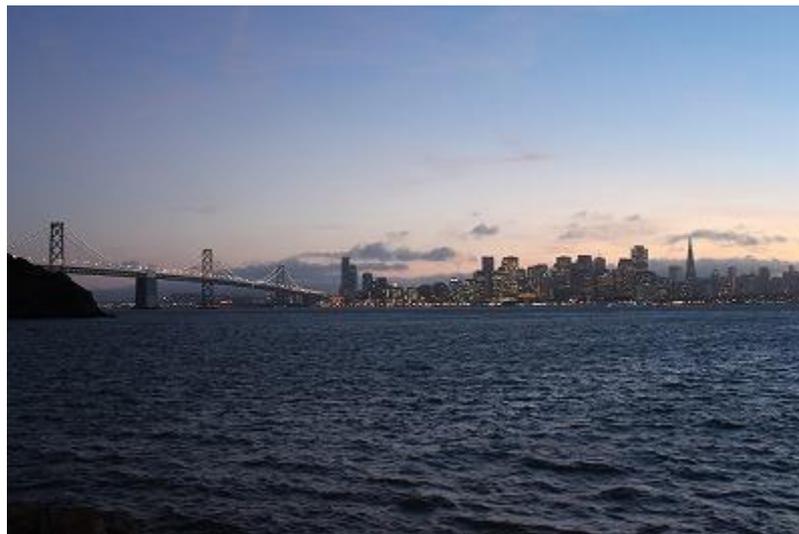
[主な日程]

9:00	◎パロアルト市出発
13:35	◎サンフランシスコ空港発(ユナイテッド UA853便)

↓

— 日付変更線通過 —

16:25	◎成田空港着
17:30	◎成田空港出発
19:30	◎土浦市役所着



サンフランシスコの夜景

◆思い出と感動を胸に、全員が無事帰途に就くことができました。

滞在中は、好天にも恵まれ、公式行事や歓迎会をはじめ、全ての行程を順調に終えることができました。

サンフランシスコからの帰路のフライトでは、ほぼ満席という中、約11時間という長時間にわたり、体には相当の負担がかかりましたが、全員元気で成田空港に到着し、無事に土浦に帰着することができました。



# 訪 問 団 報 告

日本／土浦まつり市民訪問団に参加して

やっと念願かなってアメリカで日本舞踊を踊る事が決まりました。出発まで約三カ月、さて何をどういうふうに披露したらいいのか大変悩みましたが、久美浦会の参加者全員で考え演目は決めました。それから大急ぎで稽古をしてどうにかまとめ、いざ出発。

往きの飛行機は思ったより短時間で到着、サンフランシスコ空港に中島先生の出迎えがあり、そのままバスに乗ってまつりの会場を見せて頂きその場にて昼食、その後、中学生交換交流事業参加校の二校を訪問、又廃水処理施設をみてホテルへ、とても長い一日でした。

二日目の午前中はスタンフォード大学見学、これはあまりにも広くて日本人の私には考えられない程の立派なものでした。とても興味深く見てきました。午後はホテルに戻り、夕刻に新コミュニティセンターで踊る為の準備をして出かけていきました。そして踊った場がバスケットのネットの下がった下で夕日を背に受け草履をはいたまま踊るという、今まであまり経験した事のないものでした。それでも見て下さる方は結構いて下さり、アメリカに来て踊っている事を実感した瞬間でした。そして、その着物のまま歓迎会会場のネイバーズアブロード会員宅へ移動し、こちらで又道路上にて踊りを披露して、おいしい御馳走を頂き二日目終了。

まつり当日は、朝から大忙し。自分達の出来る限りの支度をして決められた時間にやや遅刻かなと思い、出かけていきましたが、パロアルト時間とかいうことで予定の時間より遅れて始まりました。そして自分達が出来た事は精一杯頑張りました。この日は疲れてしまい早めにホテルに帰りました。

最後の日はサンフランシスコの観光を楽しませていただきました。



今回は、私達日本舞踊をする者が外国の人達に見て頂く時に、どうしたらいいのかを考える良い機会になりました。そして、大変貴重な体験をする事ができました。

土浦の姉妹都市パロアルト市は閑静な住宅地で、いずれの家にも庭があり庭木が茂り、町の中も綺麗になっていてとても気持ちのいい町でした。

## 「日本／土浦まつり」国際交流に参加して

9月26日（金）12時すぎ、市長や職員の方に見送られて、市役所からバスにて出発。成田到着後、US航空のトラブルにより、出発時間が2時間程遅れましたが、無事サンフランシスコ空港に着くと、関係者の方にお迎えいただきました。空港からバスでハイウェイを走らせると、たくさんの樹木に囲まれ、別荘地みたいな空気の良いパロアルト市に到着しました。

これでやっと国際交流にきたという実感がわきました。アメリカ行きが決まったのが3カ月半前で、踊りの演目を決め稽古に入り、皆様により良いものをお見せしようと真夏の暑い日も稽古にはげみ、一生懸命練習して、どうやら間に合いました。その間、衣装を浅草まで見に行ったり、小道具を買ったりしましたが、それをスーツケースに積むのが大変でした。

9月27日（土）の午前中は、スタンフォード大学見学。日本ではありえない広大さ。特に感銘を受けたのは、ロダン作・地獄の門、考える人等の彫刻でした。4時すぎ、ミッチェルパーク内の新コミュニティセンターで、明日の日本／土浦まつりにたくさんの人に来てもらえるよう、路上で元禄花見踊を披露しました。前で見学していた子供達がとても喜んでくれ、拍手をしてくれました。館長さんからも、日本／土浦まつりのPRをしていただきました。その日の夕方、ネイバーズアブロード会員宅で歓迎会が行われ、美味しい家庭料理を御馳走になり、そこでも元禄花見踊を披露しました。地元の方の挨拶や、楽器演奏等もあり、交流を深めました。

9月28日（日）、日本／土浦まつり会場へ。色々な出店があり、ホールでは、日本舞踊、柔道、剣道などの披露に、大勢の人がつめかけました。日本舞踊は、午前と午後の二回公演を行いました。地元で学んでいる日本人学生による踊りの説明が英語でなされ、良く内容が理解出来たと思います。午後の時、庭での餅つき大会と時間がぶつかったため、時間を20分ずらしてもらい、そのおかげで観客が大勢になりました。終了した時の充実感は、何物にも代えがたいものでした。

9月29日（月）サンフランシスコ市内見学。特に印象に残っているのは、坂道だらけのサンフランシスコの町を、ケーブルカーでユニオンスクエア界隈へ走りぬけた事でした。

日本舞踊を通じた国際交流という、素晴らしい体験、感動を有難うございました。今後も、両市の友好と土浦市の発展を祈念します。



日本／土浦まつりに参加して

パロアルト市と土浦市との交流が、新治村との合併前から現在まで約20年間続いている事は、素晴らしい事と思います。その交流の中に、私たち久美浦会が参加させていただいた事は、とても光栄でした。

参加が決定されたのは、出発日より3か月前、6月の末頃だったでしょうか。外国人の方に喜ばれる曲目として4曲選び、私は連獅子の子獅子を踊る事となりましたが、練習はとてもきつく大変なものでした。途中、腰痛、膝痛で病院通いのため、久美浦会の方たちに大変迷惑をかけてしまいました。参加はとても無理かなと思いましたが、なんとか出発までこぎつけた次第です。

飛行機に乗り、翌日、サンフランシスコ空港に降り立った時は、澄みきった青空、まぶしい太陽、さわやかな空気、広大さに、参加して良かったと思いました。パロアルト市は、緑豊かな閑静な高級住宅街で、高い木があちらこちらに繁り、特にレッドウッドは印象的でした。民間団体のネイバーズアブロードの方々には、滞在中大変お世話になりました。やさしく温和で、もの静かなあたたかい方が多く、自然に溶けこめる雰囲気がありました。

私たちの舞踊は、滞在2日目、3日目に披露する事になりました。

2日目はネイバーズアブロード会員のお宅でホームパーティーに招待され、その中で披露する事ができました。子供から老人までたくさんの方が集まって下さり、とても喜んで下さいました。

3日目、まつり当日は10時に開場で、広大な敷地の真ん中にコミュニティセンターがあり、その中のホールで披露。集まった方々は最初から最後まで静かに見て下さいました。野外では、盆栽、柔道、生花、坐禅、剣道、空手と日本文化が披露され、こちらの大陸まで日本文化が生きづいている事、日本を愛して下さいている事に感動致しました。



4日目はサンフランシスコ近郊を見学、帰路に着きました。

久美穂先生の指導のもと、日本舞踊を良く稽古し、おかげ様で貴重な体験をさせていただきました。ますますの両市の発展をお祈り致します。

日本／土浦まつり」に参加して

この度は「日本／土浦まつり」に思いがけずに参加でき、よい思い出ができました。

いつもの海外旅行と違い、街並みや人々の姿、生活を見ることができました。パロアルトはとてもきれいな緑豊かな街で、敷地内には大きな木々があり、芝生もよく手入れがされていて草など出ていませんでした。落ち葉の季節はどうするのだろうと、不思議に思い聞いてみると、庭師をかかえている家は庭師がきれいにし、その他の家は自分達できれいにしているとのこと。道路は行政がやっているとのことでした。これだけの木々があったら掃除もたいへんだろうと思いました。

さて、日本ではどうでしょう？落ち葉で雨樋が詰まるとか、汚れ掃除が大変だとか、とても木など植えておけないこの頃です。自分の家の周りは自分で皆がすれば、税金を使わなくてもすむと思います。あれだけきれいな街にしておけるのは、よほど豊かな証拠でしょう。

「日本／土浦まつり」では、日本舞踊「勝三郎連獅子」「津山の月」「元禄花見踊」を披露しました。たくさんの人々に拍手を戴いたときは、本当にあきらめずに三十年稽古をしていてよかったと思った瞬間でした。少しでも日本の心を知ってもらえると嬉しいです。

そして、現地に住む日本人もアメリカの社会に溶け込んで、日本の文化を残しながらたくましく生活しています。

これからも、パロアルトと土浦が交流を深め、明日を担う子供たちがお互いに仲良くしてほしいと思います。肌の色、言葉は違っても人の心は分かり合えるものです。更に交流を重ねて、皆が手を取り合って、地球のように丸く輪になって、平和な世界になってもらいたいと願っています。



「日本／土浦まつり」パロアルト市姉妹都市締結5周年記念訪問して思う

2014年9月26日 サンフランシスコ空港着。中島先生にお迎え頂き安堵。空港からシリコンバレーロードを高速道路で40分程南下したパロアルト市では、緑豊かな閑静な住宅街に全米トップクラスの中学校2校を見学。日本語教室では、笑顔で日本語で挨拶を頂き、飛行の疲れも忘れましました。短いながらも心が和む交流をさせて頂きました。学校からTシャツを頂き皆さんニコニコ。

浄水場見学。年間降水量が少ない為、廃水を大切に浄水は市内の樹木に注水、緑を守っているそうです。

2日目 広大なキャンパス、スタンフォード大学。環境設備も整い緑豊かな美しいキャンパスでした。世界各国から学生が集まり、起業家となった方も沢山いるそうです。ロダン彫刻庭園に20点程の作品が展示され感動。特に「地獄の門」は印象的でした。午後は、新コミュニティセンターでまつりのPRを兼ね、日本舞踊披露。大勢の市民の皆様から拍手を頂き安堵。ネイバーズアブロード会員宅での歓迎パーティーでは、会員の皆様が手料理を持ち合わせ和やかなおもてなしを頂き、感謝の気持ちで一杯。言葉は通じないが心はひとつと思いました。副市長や議長の挨拶、現地の民族音楽、日本舞踊等披露など楽しい交流会でした。

3日目 「日本／土浦まつり」 日本文化に興味のある市民の方が多く、大勢集まり賑わい、まつりは大成功。現地では武道が盛んな様で、剣道や空手が披露されていました。土浦からは坐禅、お茶、折り紙、日本舞踊等を披露して、大勢の皆様が熱心に見ていただき拍手もいただきました。様々な市民交流ができ、訪問参加して良かったと感じました。

4日目 坂道の多いサンフランシスコ。心が達成感に満ちた中、ケーブルカーでの観光やショッピングは楽しい最後の日となりました。

結び 私達は、子供の頃食料不足で栄養を補うため、学校給食でアメリカから脱脂粉乳を貰い成長しました。戦後69年が経ち、アメリカ、パロアルト市と姉妹都市を締結したことは、私たちの祖父母親の時代の多大な努力による高度経済成長の結果と思います。その努力を無駄にせず、グローバル社会の中で成長して行く子供たちを応援し、平和で安全な社会に成長して行くことを願います。日本舞踊を27年間継続して良かった。旅行では体験できない一生涯の勉強をさせて頂きました。



三ツ井 美智	向上庵住職
--------	-------

日本／土浦まつりに参加して

土浦市が企画した姉妹都市パロアルト訪問の仲間として二回目の参加となりました。

私は市内小野に住する禅僧の一人として坐禅修行にたずさわり、寺門を開放して精進し、永年パロアルトの中学生の坐禅体験に奉仕して参りました。二十年余の実績があります。

これには、パロアルト市民の中島敬子先生の奉仕活動があり、これはまことに奇特の至り。この奉仕活動が底力となって毎年の交流が大きくなみのりとなっています。

中学生と父母の参加も両輪となり、交流のきずなは大きくなっています。小さなつながり、一人ひとり心のつながりが両市の交流に強い結びを育んできました。そして9月28日、日本／土浦まつりが、コミュニティセンターにて開催されました。

会場は、前回同様のホールです。このまつりは、パロアルト市、ネイバーズアブロード（民間国際交流団体）と土浦市、土浦市国際交流協会の主催にて行われました。私は茶道教室。お茶に親しむ喫茶を楽しんで頂きました。



茶席の設けが出来、お客様を迎えます。幸いに、アメリカ婦人ナ

ンシー・ハミルトンさんのお手伝いを得ました。婦人の日本語の美しさ。言葉が正しく分かりやすく流暢な通訳にて、参加者は和やかに茶席に溶け込みました。ハミルトン婦人は、茶の湯の稽古も出来ています。それに、茶道具の用意も頂きました。

ご存知の通り、茶道には諸道具がいろいろです。私も持参致しました。茶も菓子も持参致しました。婦人の説明にて参加者は茶を喫し、ほほえみが見られました。

なお、今回は、参加者自身が茶を点てること、それを喫すること、茶筌をふって茶を点てて味わうことに大変興味を示され、熱心に参加されました。ハミルトン婦人は、お客様の処を観て廻りアドバイスをして下さり、よりいっそうの茶の会になりました。

皆さんからサンキューのお声を沢山頂き、茶の会は盛会裏に終わりました。

次に、坐禅の会です。ホームステイ先の岸本さん宅の若主人、リー・コリンズ氏が通訳です。コリンズさん、日本語が上手。特に禅文化の研究をなされ、禅のことをよく理解され、参加者への指導助言が立派でした。一坐30分の体験を、実に立派に実践されました。

禅は世界各国に伝えられ、人々の生活文化の発展に一躍を充たし、心身の陶冶に大きく寄与していることを実感することができました。

これらは、中島敬子さん、ハミルトン婦人、コリンズさんのお手伝いを得て、一日の研修、一回の体験ですが、良き交流が出来ました。



## 第2回 日本／土浦まつりに参加して

私は2010年に1回目の日本／土浦まつりに参加させていただき、2度目の訪問となりうれしさとなつかしさでいっぱいでした。ネイバーズアブロードの会員の皆様の温かいおもてなしからパロアルトステイは始まりました。

今回は、1日日程が増えたのでパロアルト市内の施設や学校訪問が出来、タイトなスケジュールにもかかわらず、全日程が無事に終了すると共に参加者全員がそれぞれの成果をもって帰国出来たことは関わった全ての皆様に感謝です。

日本／土浦まつり当日は、始まる前に舞踊団、坐禅、お茶、折り紙の担当者にそれぞれ分かれて準備を進め、土浦のブースでも、前日に用意した土浦市のPR、土浦市国際交流協会の紹介及び活動写真の展示、スライド、ビデオの設置等。隣には中島先生が自宅からお持ちになった7段雛飾りや、鯉のぼりのセットも壁に飾りつけて、日本情緒あふれるコーナーとなりました。他にも、着物、日本製品等の販売、すしやうどんの販売コーナーもあり、にぎやかな会場に大勢の方が訪れて下さいました。土浦のPRもさることながら特に、中学生の交換交流に興味を示して、是非我が子も来日させたいなど積極的に質問され、うれしい対応に忙しさも忘れるほどでした。

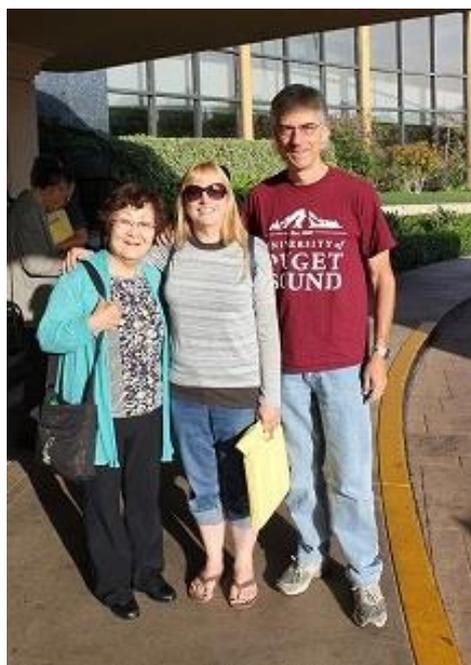
前回同様、パロアルト在住の日本人の皆さんは、書道、剣玉、盆栽、生け花、もちつき、お囃子、また剣道、柔道、合気道、弓道、空手のデモンストレーションなど多彩なプログラムに参加者も大いに満足されたようでした。もちろん、土浦軍団の日本舞踊、坐禅、お茶、折り紙の披露も参加者の皆さんは満足されたに違いありません。

天候にも恵まれ、かくも大勢の参加者をお迎えして盛大に終わることが出来たのは、ひとえに中島先生のご努力によるものと感服いたしました。彼女の呼びかけに大勢の若い人たちが力を合わせて協力している姿を見て、中島先生の持つ大きなネットワークに改めて驚きと感謝の気持ちを表したいと思います。

残念ながら、土浦にはまだまだ若い力が足りません。将来的には協会員自らの力で姉妹都市交流に発展して行ってほしいと切に感じました。

私は、今回もホームステイをさせていただきましたが、ホストファミリーのジョーン、ラニさんご夫妻には温かいおもてなしをしていただき、ささやかながら民間交流が続いております。

最後に、今回の土浦まつりを成功に導いて下さったネイバーズアブロード会員の皆様と土浦市の関係者に御礼を申し上げます。



## パロアルト訪問記

この度、日本/土浦まつり市民訪問団の一員として、「おりがみ」を披露することで参加させていただき、パロアルトを訪問してきました。9月26日に、一行16名が成田を飛び立ちました。サンフランシスコに、同日11時に着き、そのままパロアルトに直行、コミュニティセンターの中庭にてパロアルトの方々の手料理による昼食を御馳走になりました。その後、中学生交換交流事業参加校のジョーダン中とJLS中を訪問、PCを使い明るく活気のある教育風景を見学してきました。そして、パロアルト市内行政視察として、廃水処理施設、市庁舎を見学しました。環境を配慮した徹底した施設と開放的な議会ムードが感じ取れる庁舎でした。

次の日の午前中は、スタンフォード大学を見学、宮殿のような豪華な施設、このような場所で、最高の学問を探求できるのは、うらやましい限りでした。その後、コンピュータヒストリーミュージアムを見学、なつかしくコンピュータの発展の歴史を拝見しました。シリコンバレーと言えば、最先端の地点、これこそが、歴史として残すべき遺産と理解しました。その日の午後は、明日行う「日本/土浦まつり」の準備を行いました。そして、その夕方、新しく昨日開館したばかりの、コミュニティセンターを見学しました。女性の市長自ら案内していただきました。モダンなセンターで、日本との違いを感じました。その後、ネイバーズアブロード会員宅にて歓迎会が催されました。そこでは、参加者一同の紹介と、会員の方の持ちよりによる温かい豪華な料理に舌鼓を打ち、日本舞踊の披露、地元の方の演奏と和気あいあいとした時間が過ぎました。そこに、私が二日間お世話になるホームステイ先のパティエさんご夫婦も来ていただき、パーティーは盛り上がりました。パティエさん宅は小さな森の中に造った童話に出てくるような家で、リス（5）、猫（4）鳥は、青カケス、ハチドリと、自然にマッチした住まいで、また、パティエさんは、日本びいきで、折紙にも特に興味を持っていただき、また、ご主人はエンジニアで、私と話も合い、楽しい時間を過ごせました。

9月28日は、「日本/土浦まつり」の本番です。訪問団メンバーによる土浦紹介、日本舞踊、坐禅、茶道、折紙、地元の方の剣道、書道、盆栽、ケン玉の実演等色々な催し物がありました。私は、折紙担当ということで、それに専念しました、パロアルト側からも、山口先生を始め、3名の方が、折紙講師として手伝って下さいました。折紙写真のパネルを貼り、折り方の冊子50部もほとんどはけ、休む時間がないくらいに、大盛況でした。展示していた「鶴4-蝶20の繋ぎ折紙」は、パティエさんに上げ喜んでいただきました。その他の催し物は、私は、ほとんど見るこ



ができませんでしたが、すべて成功で、大勢の人が、見に来られていました。

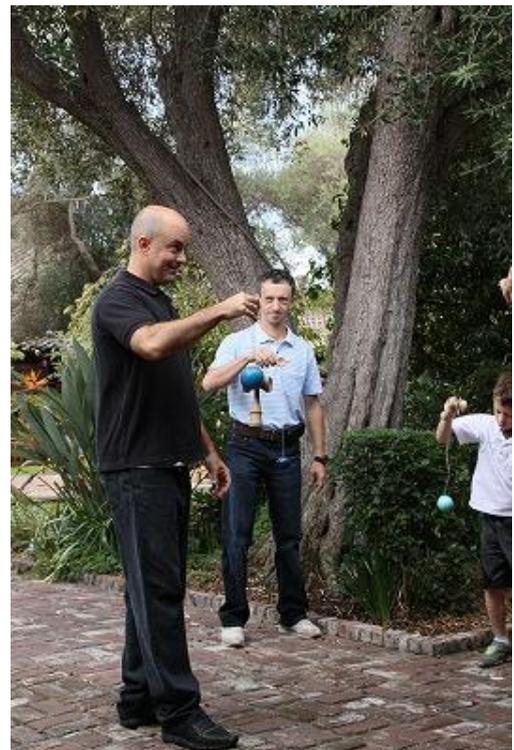
その晩は、もう一泊、パティさん宅に泊めていただきました。太平洋岸で、夕陽を見ながら食事をしました。次の日の朝は、パロアルトを離れる日で、早起きをし、名残惜しく、私のもう一つの趣味である野鳥の観察をしました。

その後、サンフランシスコで一泊して、5日間の全日程が終了しました。今後、両市の市民交流が発展していくことを祈願して、今回の訪問団に参加させていただきましたこと、関係者の方々に感謝申し上げます。

◇「日本/土浦まつり」では、様々な日本文化が紹介されました



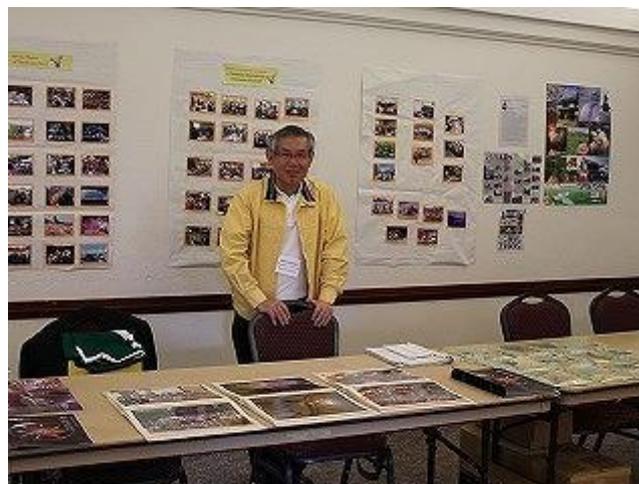
書道



けん玉

## 平成 26 年度「日本/土浦まつり」報告書

パロアルト市において開催された「日本/土浦まつり」に参加し、市民交流を図るとともに土浦市の紹介等を行ってきましたので、次の通り報告いたします。



## 1. 内容及び感想

## (1) 市民交流

## ・ネイバーズアブロードメンバーとの交歓

ルーシースターンコミュニティセンター内ガーデンにての昼食会

ネイバーズアブロードメンバー宅での歓迎ガーデンパーティー

いずれも先方の手作りの料理を楽しみながらの交歓となり、堅苦しさもなく、自然な雰囲気では話はずみ、私のつたない英語でも、先方が理解しようと真摯に対応していただいたおかげで、多くの方とお話ができ、楽しい時間を過ごすことができた。飾り気なく和らいだ雰囲気を演出し異国の方を受け入れようとするネイバーズアブロードメンバーの姿勢はたいしたものだと感心した。

## (2) まつり参加

## ・土浦市紹介と中学生交換交流紹介ブースの事前準備・設営及び当日の対応

会場の状況が十分にわからない中での写真等掲示物の作成とブースの設営であったため、人を引き付けられるかと不安があったが、ブースへの訪問者は想像以上に多く、対応に汗をかいたほどであった。訪問者の興味は、交換交流への参加方法及び日本での受け入れ内容そして土浦市そのものの情報（位置、産業、自然）が主であり、それに対応するためには、れんこんと花火だけでなく、東京との位置関係、雪、桜、湖、蔵のような自然と歴史物、環境保護状況などのPR情報の準備が必要と感じた。また中学生交換交流の申し込み、日本でのホームステイや行事内容について、写真以外でも説明できるパンフレットのようなものがあれば、より効果があったと考える。

## (3) 市内施設見学

## ・ジョーダン中学、JLS 中学、廃水処理施設、パロアルト市庁

中学校の訪問は、授業参観の機会もあり、興味深く、生徒が希望して授業参加しているということを知り、パロアルト市が日本語教育に取り組む熱意が伝わってきた。それだけに、交換交流で受け入れる土浦市側の熱意の重要性も改めて認識させられた。

## 2. 今後

今回の訪問を通じ、先方のこれまで築き上げてきた日本への関心の高さとよい印象を受けとめ、さらに高めて継続する意欲と行動が土浦市側に求められると考える。それだけにこの交流を担う人材を確保し組織的な認識を定着していく努力なしには、今後の姉妹都市交流もあいまいなものになるのではと危惧する。今回、先方も中島先生が引退されるということで、土浦市側も交流の絆を維持し整えることに一層の努力が必要となるものと拝察する。

◇5年前に中学生交換交流事業に参加した 小松崎 楓さん (写真 右)が、日本舞踊の解説を英語でアナウンスしてくれました。

彼女は、平成20年度の交換交流派遣生であり、その後も英語に興味を持ち、現在、カリフォルニア州立の短期大学に留学中です。

今回の「日本/土浦まつり」で、お手伝いを申し出ていただき、ここパロアルトでお会いできたことは、訪問団にとって、とてもうれしいでき事でした。



平成26年度「日本／土浦まつり」パロアルト市訪問によせて

平成26年8月21日、土浦市役所本庁舎会議室において参加者説明会が開かれ、参加者初めての顔合わせとなりました。追って、9月26日、中川市長を始め、市職員の方々に見送られ、参加者16名が土浦市役所を出発致しました。

一行は夕方、成田を発ち、空路サンフランシスコへ。降り立ったサンフランシスコは、日本の秋と変わりなく、爽やかで凌ぎ易い気候でした。空港では中島先生のお出迎えを受け、初めにルーシースターンコミュニティセンターに案内され、ネイバーズアブロードの会長さんを始め、数名の会員の方々が手作りの昼食で歓迎して下さいました。青空の下、中庭にて楽しい昼食会を過ごす事が出来ました。その後、パロアルト市内の二つの中学校を訪問しましたが、日本の中学校の様子との違いには、とても興味を覚えました。まず、どちらの中学校も校長先生の若さとエネルギッシュな姿に目を見張り、一行の中から思わず「ワカ～イ」という声上がり、和やかな笑いにつつまれました。三十数国から集まっている生徒達からはのびのびとした学校生活の様子が窺われ、また、日本とは違い、科目毎に生徒が教室を移動する姿は、授業に遅れない様、教科書をかかえながら小走りする様子がとても微笑ましく見受けられました。日本語教室の授業にも、飛び入りで参加させていただきましたが、授業内容は思っていた以上に高いレベルで何よりも「日本語を選択してくれて有難う」という思いに駆られました。この日の最後はパロアルト市内の廃水処理施設を見学しましたが、熱心に案内してくださった係の方の説明を聞きながら、廃水処理及びゴミ処理問題は国内外を問わず、私達一人一人の身近に迫った課題である事を再認識致しました。二日目は、スタンフォード大学を見学し、広大なキャンパスに目を見張りました。次に訪れたコンピューターヒストリーミュージアムでは、まず最初に展示されていたそろばんに始まったコンピューターの歴史には、多くの日本製品も係って来た事に感慨深いものがありました。

午後はホテルにて、翌日の「日本／土浦まつり」に向けて、配布物の袋詰め等、国際交流会員並びに三ツ井先生、現地添乗員さんの手もお借りしての楽しい作業となりました。その後の新コミュニティセンターの見学は、パロアルト市民へのお披露目の日と相俟って、とても賑やかな中での見学となり、市民の方々の新しいコミュニティセンターへの期待と関心の高さが窺われる情景でした。夕食は、ネイバーズアブロード会員のお宅での歓迎パーティーに招かれ、心温まる手作りの食事でのおもてなしを受け、楽しい時間を過ごす事が出来ました。中でも、五頭副市長の英語でのスピーチは、現地の方々からも多くの拍手を受けられ感銘いたしました。三日目は「日本／土浦まつり」当日となりましたが、私は体調不良の為、誠に勝手ながら休ませていただきました。お役に立てる様、はりきって参加させていただきましたが、身体が付いて行けず、苦渋の選択となりました。とても申し訳なく、残念でなりません。最終日、サンフランシスコ近郊視察は、肌寒い日となりましたが、ゴールデンゲートブリッジやケーブルカー等、私達にも馴染み深い風景に出会えました。今回、訪問団に加えていただき、皆様方に感謝申し上げます。



## 姉妹都市締結5周年記念 パロアルト市「日本／土浦まつり」訪問報告

姉妹都市締結5周年を記念して開催された「日本／土浦まつり」に参加するため、「国際交流事業」を所管する市議会環境経済委員会を代表して訪問団に参加し、パロアルト市を訪問いたしました。

今回訪問したパロアルト市は、アメリカカリフォルニア州サンフランシスコ・ベイエリア地域内にあり、サンフランシスコの南56kmに位置しており、シリコンバレーの北部にも位置し、複数のハイテク企業の本拠地がある所です。

また、アメリカ国内屈指の私立大学であるスタンフォード大学にも隣接していて、環境も良く、とても治安の良い都市です。

1日目は、中学生交換交流参加校を中島敬子先生の案内で、ジョーダン中学校とJLS中学校の2校を訪問いたしました。ジョーダン中学校は、敷地がとても広く、校舎は平屋建てで5教室位の校舎が何棟も建っていました。

日本と違い、1クラスは25人位の少人数で、教師は職員室に戻らずに一つの教室に居て、生徒が授業科目毎に教室を移動していました。日本語教室に入ると、日本語で「こんにちは」のあいさつで歓迎されました。私達の日本語を学んでくれていることにうれしさを感じ、分かっていることではありましたが、これからはもっと早い年齢の時から家庭内でも英語と日本語の両立で教育していく必要性を感じました。それには、親の努力も必要で、子供に教材を与えたり、教室に通わせたりするだけでなく、親も一緒に学ぶことが大切だと思いました。

3日目は、午前10時から午後4時まで、パロアルト市のルーシースターン・コミュニティーセンターで開催されたパロアルト市、ネイバーズアブロードと土浦市、土浦市国際交流協会による「日本／土浦まつり」に参加しました。

日本側からは、日本舞踊・茶道・坐禅等も披露し、パロアルト市民による柔道・合気道・弓道・剣道等のパフォーマンスもあり、日本文化を理解し実践してくれていることに感激しました。

4日目は、サンフランシスコ日本国総領事館を表敬訪問いたしました。

今回のパロアルト市訪問は、私にとってとても良い経験になり、主催されたネイバーズアブロードの皆様の努力と御苦勞に感謝し、今後もこの交流が続くように願っています。



## 姉妹都市締結5周年記念 パロアルト市「日本／土浦まつり」交流・訪問報告

当初の予定していたサンフランシスコ行の飛行機が機体故障のため突然欠航となり、一事はどうなるのかと思いましたが、他の飛行機の席が確保でき、2時間ほど遅れて土浦まつり市民訪問団はパロアルト市に向けて成田空港を出発し、日本を飛び立って約9時間でサンフランシスコ空港に無事着陸しました。

空港では土浦市とパロアルト市の国際交流を担当していただいた国際交流ボランティア団体ネイバーズアブロード副会長の中島敬子さんが笑顔で出迎えてくださり、空港からフリーウェイを使い土浦まつりの会場となるルーシースターンコミュニティセンターへ、会場では今回の土浦まつりや中学生の交換留学で御尽力を頂いているネイバーズアブロードの関係者の皆さんが昼食会を催して下さりました。昼食会で使用したお皿やコップなどの容器はパーティー用に貸出を実施しているボランティア団体があり、そちらに依頼すれば市民は無償で使用できるそうです。自然環境を守ることを重視している市では無駄なゴミを出さない工夫が至る所に実施されています。その後は、交換留学を実施しているジョーダン中学校とJLスタンフォード中学校を表敬訪問し、授業の様子や施設見学を行いました。広い敷地に自然美溢れる学校の環境は素晴らしいの一言です。市役所の見学では、驚くことに重要な部署以外の施設は市民に開放されていて出入り自由となっています。市議会の議場は1階にあります。議員数は9名で4年の任期で2年ごとに半数の選挙が実施されます。市長と副市長は議員の中から選出され、市長の任期は1年で議案を審議します。行政執行部のトップは市の職員のトップであるシティーマネジャーだそうです。議員はボランティアで議会は夕方から開会され、傍聴席に座る市民が希望すれば、3分間の時間が与えられ自分の考えを述べることができます。ただし、意見に対する答弁は無いそうです。日本の地方議会は2元代表制を採用しているので、行政運営に対して異なる点が多々ありますが、市民に開かれた議会を目指す土浦市にとっては学ぶべき点が多く、大変参考になりました。初日の最後は浄水場の見学、雨がほとんど降らないパロアルト市では水の一滴一滴を大切にし、対象地区22万人の住民が発生させる排水から環境汚染物質を除去し、浄化した水をサンフランシスコ湾に流している大規模な施設です。すべてが日本と比べて規模が違うのでカルチャーショックを受けて本日の予定が終了。



二日目の視察先は、IT関連を代表する起業家やノーベル賞受賞者など多くの優秀な卒業生を輩出している、名門大学スタンフォードです。日本の皇居の約30倍の広さのキャンパスにはリスが走り回る自然美溢れる森やロダンの代表作である地獄の門等のモニュメントが設置された美術館にサンドストーンという石を削って造られた校舎や教会にスタジアムにゴルフ場等々桁違いの規模に唖然とするばかりでした。午後はパロアルト市に新設される図書館とコミュニティセンターの複合施設の市民お披露目会に参加、市では図書館が老朽化したため新設計画を立案、しかし市独自でこの施設建設の財源を確保するためには市債を発行しなければなりません。そこで、この案件について住民投票を実施して施設の新設が決定したものです。また、この施設建設が決定と同時にボランティア団体が募金活動を実施し、総額約30億円のうち約4億円の寄付金を集めたそうです。図書館の本には一つ一つICチップが埋め込まれ、夜間でも返還ができるような設備がされていることや古くなった本を持ち寄って販売し、その利益を新図書の購入にあてるコーナーが設けられていました。コミュニティホールも様々な工夫がされていて新図書館の建設を控えている土浦市にとって大変参考になる見学会でした。

快晴の日曜日に土浦まつりが開催、10時の会場と同時に近隣にお住まいの皆さんや仕事の都合でこちらに移り住むこととなった、子どもを連れて日本人家族の方々などなど、世界各国出身の幅広い年齢層の皆さんが会場を訪れました。地元のボランティア約150名が鯉のぼり作り方教室や生け花、習字にけん玉、折紙教室など日本文化を紹介する催しを楽しんでいました。土浦からは茶道と坐禅会に日本舞踊、折り紙教室、土浦市のPRコーナーが設けられ、お昼のセレモニーではパロアルト市長、土浦市五頭副市長と内田議長、そして、サンフランシスコ領事館の萩原領事よりご挨拶を頂き、宣誓書の贈呈及び市旗の交換が行われました。また、セレモニーの途中で、パロアルト市の日本語教師を勤めながら、国際交流ボランティア団体ネイバーズアブロードの副会長として活躍された中島先生に長年の功績に対して感謝状がナンシー・シェパード市長より贈呈されました。中島先生はパロアルト市と土浦市の中学生の交換留学事業に尽力され両市の架け橋となってくださった方です。土浦まつりは閉会の16時まで大勢の人で賑わい、このまつりはパロアルト市と土浦市の友好関係がより深いものとなる素晴らしい事業でした。



# 資料編

## ◎姉妹都市パロアルト市との交流について

### 1 パロアルト市との交流経緯等

年 月	内 容
平成5年7月	新治村内に竣工した企業を通じて、本社のあるパロアルト市内の社員宅に、新治中学校生徒のホームステイを開始
平成7年3月 ～	パロアルト市中学校教師のボランティアにより、新治村とパロアルト市中学生の交換交流事業を開始 以後、平成26年3月の訪問まで通算で20回実施(14年度、22年度は未実施)。土浦市からの派遣中学生は、通算248名
平成14年9月	村民訪問団(村長、議長、教育長、市民等18名)による訪問 訪問中、当時の新治村長が、姉妹都市締結の希望を伝えた
平成15年6月	パロアルト市長から新治村長あて姉妹都市締結の打診が届く
平成16年2月	土浦市等との合併が具体化したため、合併後の事業展開について、慎重にならざるを得ない旨を回答
平成16年	パロアルト市ネイバーズアブロード会長から、姉妹都市締結については、機が熟するまで待つとの連絡が入る
平成18年2月	土浦市と新治村が合併
平成19年	中学生海外派遣事業の見直し (土浦市:シドニー市 旧新治村:パロアルト市) ↓ 国際交流の趣旨から、交換交流という点を重視し、20年度からシドニー市への海外派遣を取りやめ、パロアルト市との交換交流に集約化
平成20年3月	パロアルト市への中学生派遣時に、土浦市として、交流を深めたいとの親書を届ける
4月	ネイバーズアブロード副会長から、土浦市との姉妹都市締結に向けての提案文書が届く
6月	6月議会文教厚生委員会における報告等を経て、提案を依頼 ネイバーズアブロード副会長から、土浦市との姉妹都市締結に向けた提案をネイバーズアブロード理事会に提出

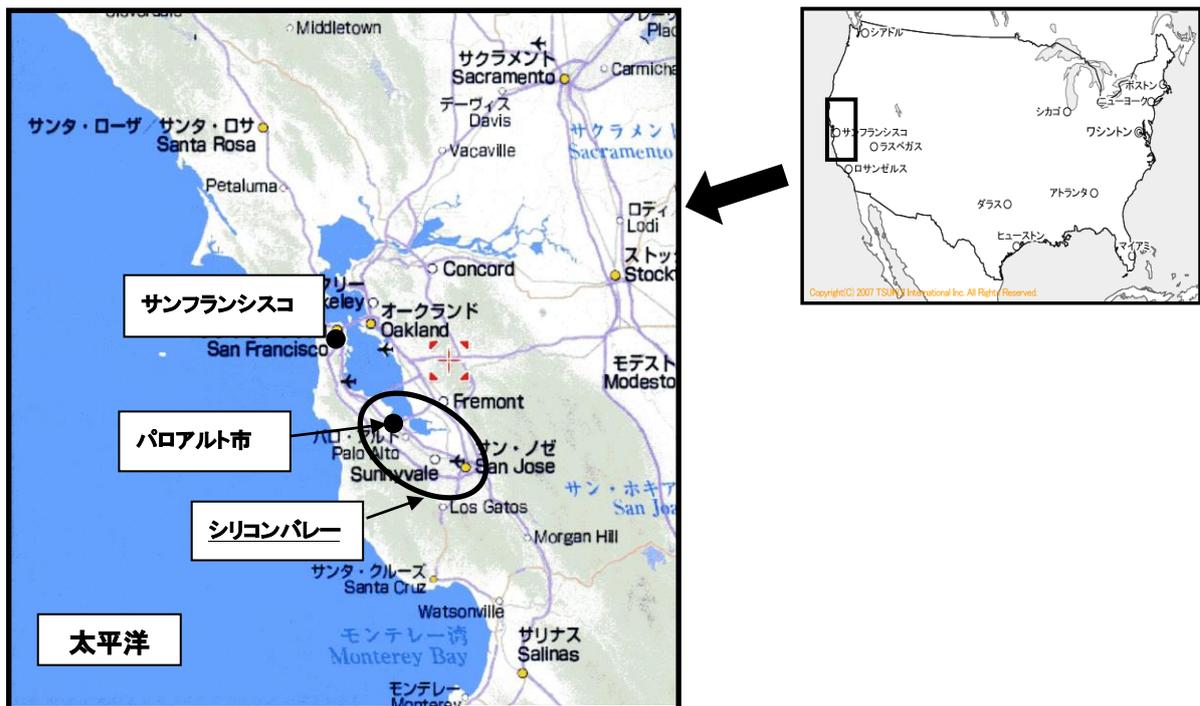
年 月	内 容
6月	6月議会文教厚生委員会における報告等を経て、提案を依頼
	ネイバーズアブロード副会長から、土浦市との姉妹都市締結に向けた提案をネイバーズアブロード理事会に提出
7月 ～21年2月	ネイバーズアブロード理事会における検討(計5回実施)
平成21年 2月17日	理事による投票の結果、全会一致により姉妹都市締結を進めることを決定し、パロアルト市議会に提案
3月17日	土浦市議会全員協議会において、姉妹都市締結等について報告。 同日、パロアルト市議会において、全会一致により、姉妹都市締結が承認される。
4月7日	中川市長が姉妹都市締結の文書に同意のサインをし、姉妹都市を締結
11月1日 ～5日	中川市長がパロアルト市からの招待を受けて訪問し、パロアルト市長、ネイバーズアブロード等との交流を深める。
平成22年 10月9日 ～13日	パロアルト市にて「日本／土浦まつり」実施。(10月10日) 中川市長を団長に合計15名の市民訪問団がパロアルト市を訪問し、日本文化の紹介及びパロアルト市民との交流を深める。
平成26年 3月15日 ～25日	パロアルト市に中学生交換交流生を派遣 ○市内各校2名 計16名、引率者2名 計18名
6月5日 ～15日	パロアルト市から中学生18名引率者6名が土浦市を訪問 歓迎・交流パーティを開催(6月5日)

### ◎「ネイバーズアブロード」とは

パロアルト市の民間国際交流団体で、姉妹都市関係について、市に提案する立場にある組織。パロアルト市における「姉妹都市」との交流は、日本とは異なり民間交流が中心で、「ネイバーズアブロード」が主体的な役割を果たしている。

## 2 パロアルト市の概要について

### ◆位 置



◆概 要     パロアルト市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ・ベイエリア地域内にあり、サンフランシスコの南、約 56 k m に位置している。

IT 企業の集積で有名なシリコンバレーの北部に位置し、市内にはヒューレット・パッカード社(コンピュータ関連機器製造)やテスラモーターズ(バッテリー式電気自動車及び関連商品の開発・製造・販売)の本社など、複数のハイテク企業の本拠地がある。アメリカ国内で屈指の私立大学であるスタンフォード大学にも隣接しており、全米でも有数の治安の良い都市として有名である。

◆面 積     総面積 66.4 k m<sup>2</sup> (土浦市の約 1/2 の大きさ)

◆人 口     64,403 人 (2010 年国勢調査) ※県内では守谷市と同規模の人口

◆市の歴史     今からおよそ 250 年前の 1769 年頃から、原住民の「インディアン」がこの辺りに住み始めた。その後、南北戦争等を経て、約 100 年前の 1909 年に「自治都市」として、「パロアルト市」が誕生し、国、州、郡の規制によらず、自らの市で決められた形で市制を施行している。

ガス・電気・水の供給も市が直接市民に供給し、市民は市に支払いをする。

◆気 候      アメリカ西海岸特有の気候で、一般的に涼しく、冬に雨が降るが、年間平均で 57 日間しか雨が降らず、夏は乾燥している。

10 月の平均気温は、最低気温が 8.9℃、最高気温が 23.3℃。

夜は冷え込む日もあるので、トレーナーやセーター、上着を用意した方がよい。また、パロアルトでは、10 月はほとんど雨が降らない。

◆政治志向      市民の 70%が民主党支持者、28%が共和党支持者

◆住宅事情      2つの優秀な高校、高い生活水準、それに併せて活気に満ちた街として、合衆国内でも有数の人気を誇っている。また、国内で最も住宅の値段の高い大学町としても知られている。

◆市の組織      ①市長・議長

任期 1 年（市議会議員の中から互選により選任）

現市長：ナンシー・シェパード市長・議長

※市長は選挙によって選ばれるのではなく、選挙で一番投票の多かった候補者から 1 年毎に交代する方式をとっている。

②市議会の構成

任期 4 年（市長を含めて議員数 9 人）

議会は、毎月第 1、第 2、第 3 月曜日の午後 7 時から開催される。

☞ 議会議員の給与は、月 600 \$（約 61,000 円）。

各自仕事を兼任している。

◆統一学校区      学校区機構は市の配下ではなく別組織で、州とその下の郡に属している。

パロアルトの学校は国内でも優秀な学校として有名で、小学校が 10 校、中学校が 3 校、そして高校が 2 校ある。

学校は 8 月の中旬に始まり、翌年 5 月の下旬に終了し、8 月から 12 月まで、1 月から 5 月までの 2 学期制である

◆パロアルト市の様々な統計（2010年）

区 分	統 計	
世 帯 数	26,493世帯	
人種別統計	白 人	60.6%
	アジア系	27.0%
	ヒスパニック	6.2%
	黒 人	1.8%
	そ の 他	4.4%
年齢別統計	18才以下	23.4%
	18-24才	4.9%
	25-44才	26.6%
	45-64才	28.0%
	65才以上	17.1%

◆パロアルト市の姉妹都市及び交流内容（土浦市を除く）

姉妹都市名		締結年	交流内容
1	スウェーデン リンシェーピング市	1987年	1991年から高校生間の交流
2	フランス アルビ市	1994年	1995年からオーケストラ、ジャズバンドの交流
3	オランダ エンスケーデ市	1980年	1984年から高校生間の交流 大学院生のシリコンバレースタディツアー
4	フィリピン パロ市及びレイテ市	1963年	パロ市子ども図書館及びコンピュータセンタープロジェクトへの協力
5	メキシコ オアハカ市	1964年	1965年から高校生間の交流。子ども図書館、プラネタリウム、孤児院の建設。 今年6月、オアハカ市で50周年記念式典。

※毎年継続的に交流している都市は土浦市のみ、市からの交流経費助成はない。

また、交流はすべてネイバーズアブロードが担当し、実施している。

◆その他

2012年、中国・上海市楊浦（ヤンプー）地区とスマートシティ・パートナーシップ協定

2013年、ドイツ・ハイデルベルグ市とのスマートシティ・パートナーシップ協定